

Yuri's Night Japan 2002 参加要領（抜粋）

Yuri's Night Japan 事務局

Yuri's Night Japan 2002 参加要領 (抜粋)

2002年3月14日
Yuri's Night Japan 事務局

1. はじめに

本資料は、来る2002年4月12日に日本国内を含む世界各地で開催予定のYuri's Night 2002 -the World Space Partyにおける、日本国内でのイベント参加要領についてまとめたものです。

2. Yuri's Night 2002 の開催目的とYuri's Night 2001 の成果

Yuri's Night はユーリ・ガガーリンによる人類初の有人宇宙飛行成功やスペース・シャトル初号機の飛行成功を祝し、毎年4月12日を人類共通の宇宙開拓記念日として音楽と映像溢れるパーティを世界で同時開催し、宇宙の神秘と地球の尊さを人類全体で共有する、非営利・平和主義に基づく地球規模の巨大イベントです。

本イベントの開催目的は下記の通りであり、特に日本国内のみならず世界各国から参加する全ての人々との間で関係情報等を紹介してその認知や意識を高めるとともに、これを人類全体で共有することを最も重視しております。

- 宇宙の神秘やこれまでの宇宙開発の成功を人類全体で祝福し、共有してその認知を高める。
- 宇宙や宇宙開発というものを、より身近な存在へと近づけ、より良く知り、様々な人々が関われるための機会を作る。
- 宇宙という視点から地球の尊さや人類社会の解決すべき問題を考え、この惑星とそこに住まう人類の発展的な将来像その実現のために今後我々がすべきことを考え、共有できる機会を作る。
- 宇宙開発のみならず、これまでの各種産業技術等の発展や最新技術情報を紹介し、共有してその認知を高める。

本イベントの開催は今回が2回目となります。前回のYuri's Night2001は、1961年4月12日のユーリ・ガガーリンによる歴史的宇宙飛行の40周年、1981年4月12日のスペース・シャトル初号機の飛行成功20周年、そして人類初の国際宇宙ステーションISSの本格運用開始などを記念し、2001年4月12日に世界で同日開催されました。そして南極基地を含む7大陸を制覇し、世界29カ国、64都市の各会場で合計10,000人以上の人々が参加し、2000万人以上の人々がYuri's Nightのホームページの他、CNNやBBC等のメディアを通じてその存在を認知するという、まさに地球規模のイベントとなりました。

3. 主催

Yuri's Night はアメリカ合衆国ロスアンゼルス市内に本部を有し、ボランティアとして各国から参加・活動をしているYuri's Night Global Committeeが主催しています。日本国内におきましては、国際宇宙大学日本卒業生組織(Japanese Alumni Society for the ISU: JASI)内に組織するYuri's Night Japan 事務局が本部との窓口となり、同じくボランティアとして関係機関や企業、団体等のご指導・ご支援を頂きながら国内外のYuri's Night関係者への支援活動を行っております。なお、国内でのイベント実施に当たってはYuri's Night Japan 事務局の他、各開催地での主催者が中心となり、協賛企業や後援団体等のご協力を仰ぎます。

4. Yuri's Night Japan 事務局の役割

Yuri's Night Japan事務局は、Yuri's Night 本部の開催趣旨に基づいて連携・調整を図りながら、日本国内におけるYuri's Nightの準備や開催、普及啓発活動等のとりまとめを行います。主たる具体的な役割としては下記の事項が挙げられます。

- Yuri's Night 本部との連携・調整
- Yuri's Night の日本国内開催に関わる国内外主催者向けの窓口および支援業務
- Yuri's Night の日本国内開催に関わる国内外協賛企業や後援団体等への窓口業務
- 日本国内におけるYuri's Nightの実施と協賛企業や後援団体等の紹介
- Yuri's Night Japan ホームページによるYuri's Nightの普及啓発と協賛企業や後援団体等の宣伝・紹介
- 会計報告を含む報告書の作成と送付
- その他、必要に応じて参加者、支援企業、団体等からの要望事項への対応

5. 開催日程および開催地

開催日程： 2002年4月12日（会場によって時差を伴います）

開催地： 世界各地の登録パーティ会場

- 世界各地の会場については<http://www.yurisnight.net>参照
- 日本国内の開催については<http://www.isu-asia.org/yurisnight-japan/>参照

6. 予想される参加者

本イベントの主催にあたっては、世界各国で活躍する国際宇宙大学（International Space University :ISU）の卒業生が多く関わっているため、その友人・知人等が多数参加していると考えられます。また卒業生だけでなく、宇宙開発をはじめとして各種産業界等の第一線で活躍している ISU の講師、職員やその友人等の他、宇宙の研究や宇宙開発、地球環境問題に興味を持つ学生等も多数参加しています。この世界に広がる強力な ISU コミュニティの存在が、僅か一年目にして世界29カ国、64都市の会場で10,000人以上の参加者を集めることに大きな役割を果たしております。本年も2002年3月4日時点で既に72会場が正式に本部登録されていることから、昨年以上の参加者が期待され、また各国メディア等の注目も更に期待されます。

日本国内におきましても、本年は昨年来の仙台、筑波、東京、京都の4会場に加え、新たに岡山県美星町の美星天文台が加わり、これらの会場と国内外各地の会場をインターネット・ライブ中継やチャットで結ぶなどの計画を準備しており、昨年以上の参加者とイベントへの注目が期待されます。

7. 参加要領

Yuri's Night Japanへの参加を企業や団体等に対して広く求めます。参加にあたっては「協賛」、「後援」という分類を設けさせていただきます。企業等につきましてはご協力が得られる場合、その程度に応じて「協賛」または「後援」に分類させていただき、関連団体等につきましてはご協力が得られる場合「後援」の分類とさせていただきます。

7.1 企業および団体等に期待する協力内容

本イベントに参加頂く企業および後援団体等に期待する協力内容は以下の通りです。なお協力内容やそれに応じたサービス等の詳細に関しましては、事務局と別途調整させていただく場合がございます。

- 協力者、技術者等の派遣
イベント前後や当日アトラクション及びインターネット・ライブ受発信等を支援頂く協力者や技術者の派遣
- 必要資材、必要技術等の提供または貸出し
イベント前後や当日アトラクション及びインターネット・ライブ受発信等に必要な資材・技術の提供または貸出し
- パンフレット、サンプル商品、関連グッズ、展示物、アトラクション用賞品等の提供
ご協賛企業またはご後援団体の活動や技術、商品等を紹介するパンフレット、サンプル商品、展示物および当日アトラクションにおける賞品等の提供
- イベント開催費用の支援
事務局の運営やイベントの準備・実施・事後処理等に必要な経費の支援
- その他
その他 Yuri's Night Japan 事務局および開催担当者だけでは対応出来ない作業または費用の支援

7.2 「協賛」要領

「協賛」頂く企業には協賛金をお支払い頂きます。協賛金は一口10万円とし、その用途を日本国内にて開催される全てのYuri's Night イベントの開催やイベント前後の必要経費に充てさせていただきます。

なお、ここで「協賛」頂いた企業に対しては以下のサービスを提供させていただきますとともに、下記「後援」企業または団体に対するものと同様のサービスを提供させていただきます。

- Yuri's Night Japanパンフレットへの簡単な企業紹介または製品広告等の掲載
- Yuri's Night Japan ホームページ（日本語版と英語版）へのバナー広告および簡単な企業紹介の掲載
- 商品等の展示物、広告およびポスター等の展示

パンフレットやホームページ等における企業紹介や広告の為のスペースは、協賛金1口当たりA4版紙面四分の一のスペースとします。

パンフレット、グッズ、展示物等の輸送料は基本的に企業側でのご負担をお願いいたします。

パンフレットやホームページに掲載するバナー広告や、日本語および英語による企業紹介文章等につきましても企業側からのご提供をお願いいたします。

本パーティで収益金が得られた場合には、日本や世界の宇宙研究および宇宙開発に貢献する団体や地球環境保護活動等に貢献する団体に寄付されます。

7.3 「後援」要領

「後援」頂く企業または団体等には7.1に記載した協力内容のうちから、何れか一つ以上のご協力が得られた場合に「後援」とさせていただきます、下記のサービスをご提供致します。

- Yuri's Night Japanパンフレットへのロゴ掲載
- Yuri's Night Japan ホームページ（日本語版と英語版）へのロゴ掲載
- パンフレットおよびグッズ等の配布
- 収益金の寄付報告および会計報告等を含むパーティ開催報告書の作成と送付

パンフレット、グッズ等の輸送料は基本的に企業または団体側でのご負担をお願いいたします。

パンフレットやホームページに掲載するロゴにつきましても企業または団体側でのご提供をお願いいたします。

本パーティで収益金が得られた場合には、日本や世界の宇宙研究および宇宙開発に貢献する国際宇宙大学関連団体や地球環境保護活動等に貢献する団体に寄付されます。

7.4 申込およびお問い合わせ先

Yuri's Night Japan 事務局ホームページ

<http://www.isu-asia.org/yurisnight-japan/>

7.5 申込期限

平成14年3月29日（金）

7.6 協賛金振込先および配布物等の送付先

- 支援料振込先

口座：富士銀行 恵比寿支店 恵比寿ガーデン出張所（790）

普通預金 1511710

口座名義：国際宇宙大学日本アルミニウムクラブ ISU-NAC

国際宇宙大学日本卒業生組織 JASI の改称前団体です。

口座代表者：阿部守男

口座住所：〒105-0013 東京都港区浜松町 1-29-6 浜松町セントラルビル 8F

財団法人 日本宇宙フォーラム 国際宇宙大学（ISU）日本連絡事務所

- 配布物等の送付先

Yuri's Night Japan 事務局代表 川端康晴 連絡先 e-mail：yasu@yurisnight.net

7.7 協賛金支払期限および配布物等の送付期限

平成14年4月5日(金)必着

なおご入金や配布物等の到着を確認させていただいた時点で、正式にご参加頂いたものとさせていただきます。
日本国内の各開催地への発送作業等のため、中3日以上必要ですのでご理解とご協力をお願いいたします。

7.8 キャンセル時の対応

基本的にキャンセル料等はお支払い致しませんが、Yuri's Night 本部または Yuri's Night Japan 事務局の都合により日本国内における全てのイベント開催が中止となった場合につきましては、ご協賛金の全額返金および Yuri's Night Japan 事務局の負担によるご提供資材等の返送をさせていただきます。

7.9 広告掲載の順番、展示物やグッズ等の配置について

申込み受付順位およびご協力内容等を考慮し、Yuri's Night Japan 事務局が決定いたします。

8. 関連 URL

下記 URL にて、本イベントに関する各種の関連情報を入手することができます。

Yuri's Night Japan : <http://www.isu-asia.org/yurisnight-japan/>

Yuri's Night : <http://www.yurisnight.net/>

国際宇宙大学日本卒業生組織 (JASI): <http://www.isu-asia.org/jasi/>

国際宇宙大学 (ISU): <http://www.isunet.edu/>

以上

Yuri's Night 本部およびYuri's Night Japan 事務局について

Yuri's Night は下記に示す Yuri's Night 本部およびその内部の Global Committee によって非営利の草の根活動として企画・運営されており、アメリカ合衆国ロスアンゼルス市内のパーティ主催をはじめ、世界各地で開催されるパーティの支援を行っている。

Yuri's Night 本部 : 923 E. 3rd St. Suite 402 Los Angeles California USA

Yuri's Night Founders (創設者):

Loretta Hidalgo, United States of America

George Whitesides, United States of America

Trish Garner, United Kingdom

Yuri's Night Global Committee (グローバル・コミッティー):

George Weinmann, United States of America

Maria Lytkina, Russian Federation

Yasuharu Kawabata, Japan

Rachel Zimmerman, Canada

Michel Van Pelt, The Netherlands

Chris Welch, United Kingdom

Mei Ling Doery, Australia

Paul Reilly, Ireland

Imran Majid, Pakistan

Felipe Hernandez, Chile

Felicien Nzeyimana, Burundi

Elias Xavier, Tanzania

Yuri's Night Japan 事務局について

日本国内の Yuri's Night の開催においては、下記に示す Yuri's Night Japan 事務局が Yuri's Night 本部との窓口業務や国内開催者の支援等を、Yuri's Night 本部同様ボランティア活動として行っている。

Yuri's Night Japan 事務局 (今後、社会人や学生のボランティアが更に加わる予定)

代表 : 川端 康晴 東京ガス(株)技術開発部, JASI 副会長, SSP'96

会計 : 阿部 守男 芝浦工業大学 先端工学研究機構客員研究員, SSP'93

会計監査 : 安中 信人 日揮(株)化学部

徳田 泰 日本エアシステム(株)整備本部

広報部 : 木達 一仁 宇宙開発事業団 広報室, SSP'98

水野 浩靖 東北大学 大学院 航空宇宙工学専攻, JASI 国際部, ISU-ASIA 代表, SSP'98

森 千代 フリーランス

主催・協賛対応部 : 大貫 美鈴 清水建設(株)宇宙開発室, JASI 顧問

森 大地 東京ガス(株)技術開発部

企画・運営部 : 松原 正季 IHI(株)管理部, JASI 企画部, SSP'97

勝山 牧生 (株)ATL システムズ

Marc Abela Deutsche Telekom Tokyo, Sales Division, SSP'96

Kevin Jones Image Collective Tokyo

斎藤 準 東京ガス(株)技術開発部

横森 信博 東京理科大学 理学部応用物理学科, 日本科学未来館ボランティア解説員

齊藤 俊哉 慶應義塾大学 理工学部機械工学科, 日本科学未来館ボランティア解説員

国際宇宙大学について

1. 国際宇宙大学

国際宇宙大学 (ISU:International Space University, 以下 ISU) は、宇宙関連分野で活躍する人材を育成するための、大学院大学である。当時マサチューセッツ工科大学の大学院生だった3人の学生の提唱により、1987年にアメリカのボストンに創設され、以来非営利・非政府の方針のもとに運営されてきた多国籍教育機関であり、その目的として、下記を掲げている。

- 宇宙開発の国際化に対応し、その科学的、技術的、政治的挑戦に応ずる手法を提供する。
- 学生の成功に必要な技能を教育すると同時に、産業に利益をもたらす研究を実施する。
- 学生のリーダーシップを啓発し、将来の産・官・学の各分野における国際的な連携と協力とを促進する人材を育成する。
- グローバルなプロフェッショナル集団のネットワークを構築する。

ISU は当初、短期のプログラムである夏期セミナー (SSP:Summer Session Program, 以下 SSP) という形でスタートし、1995 年には、フランスのストラスブールにセントラルキャンパスが設立され、1年間の修士コース (MSS:Master of Space Studies, 以下 MSS) が設けられた。MSS 設立後も、SSP は毎夏国を変え都市を変え、継続して開催されている。SSP は約9週間の会期で開催される。講師やスタッフはもとより、学生も世界各国から100名近くが集まり、共同生活を送りながら講義や講演、その他の体験学習を通じて宇宙関連分野を幅広く学ぶ機会を学生に提供している。

2. ISU の卒業生組織およびその活動

ISU の卒業生は、2001年5月時点で1500名(77ヶ国)を数え、各国の宇宙開発機関および宇宙産業を中心に広く活躍している。宇宙飛行士、科学者、技術者、法律家、政府機関職員といった、幅広い職種で活躍する卒業生が、宇宙というキーワードの基に、非常に強固に結びついたこの組織は、他では見られないユニークな存在であるといえる。

アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、中国、そして日本で、卒業生の団体が組織され、活発な活動を繰り広げている。ISU の卒業生の活動は国際的にも認められることとなり、1999年にウイーンで国際連合 (以下、国連) によって開催された UNI SPACE III において、その一つの大きなフォーラムである Space Generation Forum (SGF) の取りまとめを、国連が正式に ISU の卒業生組織に依頼した。本フォーラムの運営に当たっては、ヨーロッパの卒業生組織が中心となり、世界中の卒業生が協力することとなり、UNI SPACE III の成果であるウイーン宣言に、SGF からの意見が多く採用されるという成功を導いた。

また、著名な経済誌である Forbes 紙の2000年4月17日号に、"The Space Mafia" というタイトルで Lockheed Martin 社が ISU 卒業生である社員のコネクションを頼り、欧州の宇宙企業との間に契約を結んだという内容と共に、ISU を紹介する記事が掲載された。(<http://www.forbes.com/forbesglobal/00/0417/0308086a.htm>)

以上

